

下白水村(昇町)について

春日市は、かつて那珂郡の一部であった5村が合併し、発足しました。

南北に連なる下白水村は、湧水に恵まれた白水村が、およそ400年前頃に上白水と下白水に分かれたことで誕生しました。

その後、昇町を起点に南へと農地の開拓が進みました。



▲春日市のもとになった旧5村

春日市の歩み

明治22(1889)年
那珂郡5村→春日村

昭和28(1953)年
春日町(町制施行)

昭和47(1972)年
春日市(市制施行)



▲春日市役所旧庁舎
(現在の春日市いきいきプラザ)



▲昇町に残る野上家の武具

御旗組と昇町の由来

昇町は、寛永15(1638)年、御旗組と呼ばれる黒田藩主の武士「旗差し(幟持ち)」らが、福岡城西側の唐人町からこの地へ移り住んだことに由来します。このことから「幟町」と呼ばれ、次第に幟町→登町→昇町へと表記が変わったとされています。

御旗組はこの地で農業に従事しながら、戦時にはここから出陣していました。また、山林を開拓して農地を耕作し、大土居(一ノ谷)、浦ノ原(座頭谷)へ連なる集落を作りました。それぞれの集落に、白水八幡宮から応神天皇が分祠されているのは、その証です。

明治22(1889)年の合併で春日村が誕生すると、昇町は村の中心に位置することから、官公庁や商店の中心としてにぎわいました。

地域の方々と一緒に 歩いて作ったマップです

文化財の魅力を知り地図にして伝えようと、令和7年11月2日(日)・8日(土)に「文化財マップ作りワークショップ 下白水の歴史を知ろう!伝えよう! パート2」を開催しました。

1回目は昇町公民館で春日市の中心に位置する昇町について講師の話聞き、昔の人々の暮らしを思い起こしながら寺田池まで散策しました。

2回目は、下白水南部に開拓された集落について考えながら、参加者同士で気づいたことを地図に書き込み、夢中になってマップ作りを行いました。

ぜひ皆さんもこのマップで、下白水の奥深い歴史を訪ね歩いてみてください。



▲フィールドワークの様子



▲マップ作りの様子

春日市文化財マップ

下白水の歴史を 知ろう!伝えよう!

パート2



下白水地区（南部）の歴史をろう！ 見どころ文化財マップ



昭和初期に“赤バス”と呼ばれる路線バスが博多駅～須玖～昇町～下白水～上白水～中原（那珂川）まで通っていた

明治35（1902）年創立
春日市の中心にある

大正5（1910）年に開業した助産院があった

えんじゅ
（市指定天然記念物）
マメ科の落葉高木で、樹齢は100年を超える。昭和57（1982）年の台風で根元から倒れたが、その後の手当てで蘇った。

金塚池公園

金塚中池

金塚上池

昇町公民館
スタート！

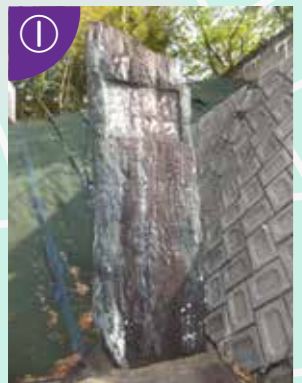
昔はここにも3つの池があった

寺田池

下白水十三仏

ゴール！

寺田池は川久保川（白水川）の水源



のぼりまちこうちせいのひ
登町耕地整理之碑
大正6（1917）年建立。農業発展のため2年3か月の日数をかけて山林原野を耕し、この地に二つの水路を引いたことが記してある。水に苦労しながらもそれを克服した人々の気概がうかがえる。



下白水大師堂
弘法大師が祀られている



いちのたにやくしどう しもしろうずやくしどう
一ノ谷薬師堂（下白水薬師堂）
寛政6（1794）年造立の石祠に像高54cmの木造薬師如来像が安置されている。元和5（1619）年に禅宗蓮華寺が改宗し移転する時、脇侍薬師如来をこの地に安置した。眼病に効験があり、10日間お参りすれば治ると伝えられる。



のぼりまちはちまんぐう
昇町八幡宮 神社
黒田藩の御旗組の移住後に「幟町」となり、白水総鎮守白水八幡宮から分祠された。見晴らしの良い高台は金塚山といい、金銭財宝を埋めた「金塚山伝説」がある。



⑤ おおどいみずきあと
大土居水城跡 特別史跡
水城は、天智3（664）年に唐・新羅の侵攻に備えて築造された一連の防衛施設。総延長1.2kmの大堤と小規模な土塁群（小水城）からなる。大土居土塁の下部では木樋（木製の導水管）が発見され、現地に保存されている。

⑥ いづくしまじんじゃ
巖島神社 神社
白水八幡宮より享保4（1719）年に勧請。白水大池公園内東端の高台に位置し、筑前三大池とされる白水池の守護神として市杵嶋姫命（通称：弁財天）が祀られている。

⑦ うらのはるはちまんぐう
浦ノ原八幡宮 神社
享保4（1719）年、座頭谷に白水八幡宮から分祀された。境内の祠には子安観音が祀られている。



④ おおどいはちまんぐう
大土居八幡宮 神社
宝永3（1706）年、一ノ谷に白水八幡宮から分祀された。明治29（1896）年に再建。大土居水城跡に隣接する鳥居から階段を上がり、竹林を抜けた山上にひっそりと祀られ、その境内には日露戦役記念碑と伊勢参拝記念碑も残されている。

日露戦役記念碑

伊勢参拝記念碑

江戸時代に須玖村に水を引くために工事した定番分水施設はここ

⑤ 江戸時代の古墓が残っている

白水大池

こうしんとう
庚申塔 農業の神、災いを防ぐ神として集落の入口に祀られた



ノ 昇町庚申塔（金塚庚申尊）
オ 大土居庚申塔（猿田彦大神）
ク 楠木庚申塔（猿田彦明神）
ウ 浦ノ原庚申塔（猿田彦大神）

浦ノ原観音堂（子安観音）

座頭谷の地名の由来になった盲目の僧侶「越前坊」の墓